19

千葉県保健医療計画の進捗状況(分野別・目標段階別) 令和4年11月末現在 〇前進 ⇒変化なし ▲後退 未判明 合計 基盤 60.0% 20.0% 20.0% 5 45. 5% 45.5% 11 過程 5 1 9.1% 5 ①がん 3 100.0% 3 成果 小計 57.9% 5.3% 2 10. 5% 5 26.3% 19 11 基盤 3 42.9% 2 28.6% 2 28.6% 71.4% 2 過程 10 14.3% 2 14.3% 14 ②脳卒中 2 25.0% 1 25.0% 50.0% 4 成果 1 小計 14 56.0% 2 8.0% 12.0% 6 24.0% 25 基盤 3 100.0% 3 ③心筋梗塞等の心血管 12 70.6% 2 3 17.6% 17 過程 11.8% 疾患 25.0% 25.0% 50.0% 4 成果 1 1 66.7% 3 24 小計 16 12.5% 5 20.8% 基盤 1 50.0% 1 50.0% 2 5 過程 7 53.8% 6 46.2% 13 疾 4糖尿病 1 33.3% 2 66.7% 3 成果 病 小計 50.0% 2 18 9 11.1% 38.9% 5 基盤 83.3% 16.7% 1 6 ⑤ア 精神疾患 過程 3 75.0% 1 25.0% 4 (認知症を除く) 6 40.0% 6. 7% 4 26. 7% 4 26.7% 15 成果 3 25 56.0% 小計 14 12.0% 16.0% 4 16.0% 基盤 8 100.0% 8 100.0% イ 精神疾患 過程 1 1 2 3 (認知症) 成果 66.7% 1 33.3% 小計 12 10 83.3% 8.3% 8.3% 基盤 23 74. 2% 2 6.5% 3 9.7% 3 9.7% 31 37 61.7% 8.3% 1. 7% 28.3% 5 1 17 60 過程 5疾病計 14 43.8% 4 12.5% 18.8% 32 成果 6 8 25.0% 60. 2% 5疾病計 74 11 8.9% 10 8.1% 28 22.8% 123 80.0% 基盤 4 20.0% 5 1 ①救急医療 (病院前救 3 3 100.0% 過程 2 護を含む) 成果 2 100.0% 4 40.0% 小計 10 6 60.0% 基盤 4 66.7% 2 33.3% 6 過程 ②災害時における医療 成果 小計 4 2 6 66.7% 33.3% 基盤 3 50.0% 2 33.3% 16.7% 6 1 2 2 100.0% 過程 事 ③周産期医療 5 4 80.0% 20.0% 成果 業 小計 7 53. 8% 2 15. 4% 30.8% 13 4 基盤 2 100.0% 2 ④小児医療(小児救急 過程 3 100.0% 3 医療を含む) 成果 5 小計 5 100.0% 基盤 13 41.9% 2 6.5% 4 12.9% 19 8.3% 5 5 過程 4事業計 成果 7 21.9% 3 9.4% 10 2 20 58.8% 5.9% 12 35.3% 34 4事業計 8 9 基盤 88.9% 1 11.1% 3 3 過程 100.0% 在宅医療 成果 100.0% 1 在宅医療計 11 84.6% 2 15.4% 13 基盤 2 50.0% 16.7% 33.3% 3 過程 100.0% 外来医療 成果 2 28.6% 28.6% 3 42.9% 外来医療計 基盤 18 100.0% 18 100.0% 過程 医師確保

100.0%

成果

医師確保計

19

		〇前進		⇒変化なし		▲後退		未判明		合計
5疾病・4事業・在宅医	基盤	63 42	75. 9% 60. 0%	4 5	4. 8% 7. 1%	10	12. 0% 8. 6%	6	7. 2% 24. 3%	83 70
療・外来医療・医師確保 合計	成果合計	21 126	48. 8%	4 13	9. 3% 6. 6%	10 26	23. 3% 13. 3%	8	18. 6% 15. 8%	
その他		28	48. 3%	3	5. 2%	22	37. 9%	5	8. 6%	58
合計		154	60. 6%	16	6. 3%	48	18. 9%	36	14. 2%	254

表の記載内容について

【指標の動向】

○前進 :計画策定時の状況から直近の状況が、目標に対して「前進」

⇒変化なし:計画策定時の状況から直近の状況が、「変化なし」

▲後退 : 計画策定時の状況から直近の状況が、目標に対して「後退」 未判明 : 計画策定時の状況から更新数値がなく、直近の状況が「未判明」

(例:3年ごとの調査に基づく数値等)

※中間見直しのあった指標については、中間見直し時の状況から評価。

【基盤・過程・結果を用いた評価】 (「千葉県保健医療計画」P4~5より抜粋)

数値目標として掲げる指標は、単に羅列するだけでは、どの段階にどのような問題があるのかを十分に分析することはできません。多面的な観点から分類・整理された指標を用いることで、はじめて包括的な評価が可能と考えられます。このような考え方から指標を基盤(ストラクチャー)・過程(プロセス)・成果(アウトカム)に分類しています。

①基盤(ストラクチャー)

医療提供サービスを行うための枠組みを形づくる要因であり、人員配置、機器・設備の状況、組織体制など、主に医療資源を指します。代表的なものは地域の医師数や病床数などであり、その地域の医療の充実度について検討する際などによく用いられます。

②過程(プロセス)

医療活動の一連の流れから見た質の側面(どのように診療や看護などのサービスが提供されたか)であり、ガイドラインに基づいた治療などを指します。また、運動する者の割合や喫煙率など人々の健康の質やその保持に直接結びつく動向も過程に該当すると考えられます。

③成果(アウトカム)

医療や保健サービスの提供の結果、何が得られたのかということであり、具体的には治療成績や 死亡率などを指します。医療資源などの基盤(ストラクチャー)の整備に加え、医療の質の向上や 県民の健康に対する意識の高まりなど、過程(プロセス)が望ましい方向へ変化していくことが、 最終的に成果(アウトカム)の改善へ収束・反映されていくと考えられます。

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

(1) 5疾病【①がん】

1	106	がん患者の看取りをする在宅療養診療所及び一般 療養診療所の箇所数	基盤		増加	R4年度	155	H28年度	146	R3年度	•
2	106	県の施設の禁煙実施率	基盤		100 %	R4年度	99. 4	H29年度	99. 6	R3年度	0
3	106	市町村の施設の禁煙実施率	基盤		100 %	R4年度	91. 4	H29年度	99. 4	R3年度	0
4	107	医療施設の禁煙実施率	基盤		100 %	R4年度	82. 5	H26年度	91. 3	R2年度	0
5	107	ロ腔ケアの地域医療連携を行っているがん診療連 携拠点病院	基盤		11 病院	R5年	8	H29年3月	8	R3年	⇒
6	107	成人の喫煙率(男性)	過程		20 %	R4年度	25. 1	H27年度	21. 9	R3年度	0
7	107	成人の喫煙率(女性)	過程		5 %	R4年度	8. 4	H27年度	6. 9	R3年度	0
8	107	がん検診受診率 ・胃がん検診(40~69歳)	過程	0	50 %	R4年	50	R元年度			未判明
9	107	がん検診受診率・肺がん検診(40~69歳)	過程	0	50 %	R4年	51. 3	R元年度			未判明
10	107	がん検診受診率・大腸がん検診(40~69歳)	過程	0	50 %	R4年	45. 1	R元年度			未判明
11	107	がん検診受診率・乳がん検診(40~69歳)	過程	0	50 %	R4年	51. 9	R元年度			未判明
12	107	がん検診受診率 ・子宮頸がん検診(20~69歳)	過程	0	50 %	R4年	41.8	R元年度			未判明
13	107	精密検査受診率(上記5がんの平均)	過程		90 %	R5年度	74. 4	H26年度	80. 6	H30年度	0
14	107	「がん診療連携拠点病院」及び「千葉県がん診療 連携協力病院」における地域医療連携パス(が ん)の利用件数	過程		増加	R4年度	1, 047	H28年度	1, 459	R2年度	0
15	107	「がん診療連携拠点病院」及び「千葉県がん診療 連携協力病院」における緩和ケアチームへの年間 依頼件数			増加	R4年度	4, 371	H28年度	5, 306	R2年度	0
16	107	「がん診療連携拠点病院」等におけるがん相談支 援センターの相談支援件数	過程		増加	R4年	64, 557	H27年	39, 421	R2年	•
17	108	住まいの場(自宅、老人ホーム等)での死亡割合 (悪性新生物)	成果	0	増加	R5年	16. 9	R元年	22. 4	R2年	0
18	108	がんによる75歳未満年齢調整死亡率(人口10万 対) (男性)	成果		84	R4年	94. 9	H28年	83. 4	R2年	0
19	108	がんによる75歳未満年齢調整死亡率(人口10万 対) (女性)	成果		49	R4年	55. 7	H28年	54. 1	R2年	0
					1	ı	Ц	ı			

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

(1) 5疾病【②脳卒中】

20	115	t-PAの静脈内投与について24時間対応可能な病 院	基盤		増加	R5年度	30 H29. 6			未判明
21	115	地域包括ケア病棟の病床数(人口10万対)	基盤		41 床	R5年度	22. 8 H29. 8	38. 3	R4. 4	0
22	115	医療施設従事医師数(神経内科)(人口10万対)	基盤		増加	R4年	2.9 H28年度	3. 5	R2年度	0
23	115	医療施設従事医師数(脳神経外科)(人口10万 対)	基盤		増加	R4年	4.6 H28年度	4. 5	R2年度	A
24	115	在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数	基盤	0	864 箇所	R5年	772 R2年	765	R3年	•
25	115	機能強化型訪問看護ステーション数	基盤	0	34 箇所	R5年	29 R3.4月	34	R4. 7月	0
26	115	脳卒中の診療を行う病院における地域医療連携パ ス(脳卒中)導入率	基盤		80 %	R5年度	50. 8 H29. 6			未判明
27	115	成人の喫煙率(男性)	過程		20 %	R4年度	25.1 H27年度	21.9	R3年度	0
28	115	成人の喫煙率(女性)	過程		5 %	R4年度	8.4 H27年度	6. 9	R3年度	0
29	115	成人1日当たりの食塩摂取量(男性)	過程		8 g	R4年度	10.9 H27年度	10. 9	H27年度	未判明
30	115	成人1日当たりの食塩摂取量(女性)	過程		7 g	R4年度	9.4 H27年度	9. 4	H27年度	未判明
31	116	運動習慣者の割合(40~64歳)(男性)	過程		28 %	R4年度	20.1 H27年度	29. 7	R元年度	0
32	116	運動習慣者の割合(40~64歳)(女性)	過程		27 %	R4年度	17.9 H27年度	25. 7	R元年度	0
33	116	運動習慣者の割合(65歳以上)(男性)	過程		38 %	R4年度	31.3 H27年度	43. 9	R元年度	0
34	116	運動習慣者の割合(65歳以上)(女性)	過程		33 %	R4年度	27.9 H27年度	40. 1	R元年度	0
35	116	特定健康診査・特定保健指導の実施率(健康診 査)	過程		70 %	R5年度	52.9 H27年度	56. 9	R元年度	0
36	116	特定健康診査・特定保健指導の実施率(保健指 導)	過程		45 %	R5年度	15.2 H27年度	20. 4	R元年度	0
37	116	高血圧の改善(収縮期血圧の中央値の低下)(男 性)	過程		126 mmHg	R4年度	129 H27年度	129. 0	R元年度	⇒
38	116	高血圧の改善(収縮期血圧の中央値の低下)(女 性)	過程		124 mmHg	R4年度	127 H27年度	127. 0	R元年度	⇒
39	116	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者) (男性)	過程		7 %	R4年度	9.9 H27年度	9. 7	R元年度	0

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況		直近の状況		指標の 動向※
40	116	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者) (女性)	過程		11 %	R4年度	15. 6	H27年度	15. 0	R元年度	0
41	116	退院患者平均在院日数(脳血管疾患)	成果		期間短縮	R5年度	79. 1	H26年度	91.4	H29年	•
42	116	在宅等の生活の場に復帰した患者の割合(脳血管 疾患)	成果		56 %	R5年度	50.8	H26年度	56	H29年	0
43	116	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万 対)(男性)	成果		40	R4年度	35. 8	H27年	35. 8	H27年	未判明
44	116	脳血管疾患の年齢調整死亡率の減少(人口10万 対)(女性)	成果		25	R4年度	21. 7	H27年	21. 7	H27年	未判明

(1) 5疾病【③心筋梗塞等の心血管疾患】

()	, .	・ 疾病【③心筋梗塞等の心皿管疾患】							
45	122	医療施設従事医師数(循環器内科)(人口10万 対)	基盤	増加	R4年	7.1 H28年	7. 2	R2年度	0
46	122	医療施設従事医師数(心臓血管外科)(人口10万 対)	基盤	増加	R4年	1.9 H28年	2. 3	R2年度	0
47	122	心大血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ) または (Ⅱ)の届出医療機関数	基盤	増加	R5年度	41 H29年7月	53	令和3年度	0
48	122	成人の喫煙率(男性)	過程	20 %	R4年度	25. 1 H27年度	21.9	R3年度	0
49	122	成人の喫煙率(女性)	過程	5 %	R4年度	8.4 H27年度	6. 9	R3年度	0
50	122	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25 以上、やせBMI18.5未満の減少)(20~60歳代 男性の肥満者割合)		28 %	R4年度	28.7 H27年	28. 7	H27年度	未判明
51	122	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25 以上、やせBMI18.5未満の減少)(40~60歳代 女性の肥満者割合)		19 %	R4年度	23. 4 H27年	23. 4	H27年度	未判明
52	122	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25 以上、やせBMI18.5未満の減少)(20歳代女性 のやせの者の割合)		15 %	R4年度	16.7 H27年	16. 7	H27年度	未判明
53	123	運動習慣者の割合(40~64歳)(男性)	過程	28 %	R4年度	20.1 H27年度	29. 7	R元年度	0
54	123	運動習慣者の割合(40~64歳)(女性)	過程	27 %	R4年度	17.9 H27年度	25. 7	R元年度	0
55	123	運動習慣者の割合(65歳以上)(男性)	過程	38 %	R4年度	31.3 H27年度	43. 9	R元年度	0
		運動習慣者の割合(65歳以上)(女性)	過程	33 %	R4年度	27.9 H27年度	40. 1	R元年度	0
57	123	特定健康診査・特定保健指導の実施率(健康診 査)	過程	70 %	R5年度	52.9 H27年度	56. 9	R元年度	0
58	123	特定健康診査・特定保健指導の実施率(保健指 導)	過程	45 %	R5年度	15.2 H27年度	20. 4	R元年度	0
59	123	高血圧の改善(収縮期血圧の中央値の低下)(男 性)	過程	126 mmHg	R4年度	129 H27年度	129	R元年度	⇒

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況	直近の状況		指標の 動向※
60	123	高血圧の改善(収縮期血圧の中央値の低下)(女 性)	過程		124 mmHg	R4年度	127 H27年度	127	R元年度	⇒
61	123	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者) (男性)	過程		7 %	R4年度	9.9 H27年度	9. 7	R元年度	0
62	123	脂質異常症の減少(LDL-C160mg/dl以上の者) (女性)	過程		11 %	R4年度	15.6 H27年度	15. 0	R元年度	0
63	123	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の 割合の減少(男性)	過程		33 %	R4年度	44.6 H27年度	42. 5	R元年度	0
64	123	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の 割合の減少(女性)	過程		13 %	R4年度	14.8 H27年度	12. 8	R元年度	0
65	123	退院患者平均在院日数(虚血性心疾患)	成果		期間短縮	R5年度	5.7 H26年度	5. 2	H29年	0
66	123	在宅等の生活の場に復帰した患者の割合(虚血性 心疾患)	成果		増加	R5年度	95.4 H26年度	95	H29年	⇒
67	123	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率の減少(人口10万 対)(男性)	成果		18 %	R4年度	17.3 H27年	17. 3	H27年	未判明
68	123	急性心筋梗塞の年齢調整死亡率の減少(人口10万 対)(女性)	成果		8 %	R4年度	6.5 H27年	6. 5	H27年	未判明

(1) 5疾病【④糖尿病】

69	130	糖尿病専門外来を有する病院の数	基盤	増加	R5年度	92	H29. 6			未判明
70	130	糖尿病の重症化予防に取り組む市町村数	基盤	全市町村の8割	R5年度	24	H28年度	54	R4. 3	0
71	130	運動習慣者の割合(40~64歳)(男性)	過程	28 %	R4年度	20. 1	H27年度	29. 7	R元年度	0
72	130	運動習慣者の割合(40~64歳)(女性)	過程	27 %	R4年度	17. 9	H27年度	25. 7	R元年度	0
73	130	運動習慣者の割合(65歳以上)(男性)	過程	38 %	R4年度	31. 3	H27年度	43. 9	R元年度	0
74	130	運動習慣者の割合(65歳以上)(女性)	過程	33 %	R4年度	27. 9	H27年度	40. 1	R元年度	0
75	130	日常生活における歩数(男性)	過程	8,800 歩	R4年度	7, 253	H27年度	7, 253	H27年度	未判明
76	130	日常生活における歩数(女性)	過程	7, 700 歩	R4年度	6, 821	H27年度	6, 821	H27年度	未判明
77		適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25 以上、やせBMI18.5未満の減少)(20~60歳代 男性の肥満者割合)		28 %	R4年度	28. 7	H27年	28. 7	H27年度	未判明
78	130	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25 以上、やせBMI18.5未満の減少)(40~60歳代 女性の肥満者割合)		19 %	R4年度	23. 4	H27年	23. 4	H27年度	未判明
79	130	適正体重を維持している者の増加(肥満BMI25 以上、やせBMI18.5未満の減少)(20歳代女性 のやせの者の割合)		15 %	R4年度	16. 7	H27年	16. 7	H27年度	未判明

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況		直近の状況		指標の 動向※
80	130	特定健康診査・特定保健指導の実施率(健康診 査)	過程		70 %	R5年度	52. 9	H27年度	56. 9	R元年度	0
81	130	特定健康診査・特定保健指導の実施率(保健指 導)	過程		45 %	R5年度	15. 2	H27年度	20. 4	R元年度	0
82	130	糖尿病の診療を行う病院における糖尿病連携手帳 又は地域医療連携パス(糖尿病)の使用率	過程		増加	R5年度	45. 7	H29. 6			未判明
83	130	治療継続者の割合の増加	過程		95 %	R4年度	86. 9	H27年度	88. 8	R3年度	0
84	131	糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数の減少	成果		738 人	R4年度	839	H27年	818	R2年	0
85	131	血糖コントロール指標におけるコントロール不良 者の割合の減少(40~74歳男性)	成果		1 %	R4年度	1. 2	H27年度	1. 2	R元年度	⇒
86	131	血糖コントロール指標におけるコントロール不良 者の割合の減少(40~74歳女性)	成果		1 %	R4年度	0. 5	H27年度	0. 5	R元年度	⇒

(1) 5疾病【⑤ア 精神疾患(認知症を除く)】

87	147	精神科救急基幹病院数	基盤	12 病院 14 病院	R2年度 R6年度	12	H29年7月	13	R4年9月	0
88	147	精神科救急身体合併症に対応できる施設数	基盤	5 病院 6 病院	R2年度 R6年度	5	H29年7月	5	R4年9月	⇒
89	147	救命救急センターで「精神科」を有する施設数	基盤	14 箇所	R5年度	13	H28年度	14	R4年4月	0
90	147	治療抵抗性統合失調症治療薬を精神病床の入院で 使用した病院数	基盤	13 病院 18 病院	R2年度 R6年度	7	H26年度	14	R3年3月末	0
91	148	精神疾患の訪問看護を実施している医療機関数 (認知症を除く)	基盤	143 施設 147 施設	R2年度 R6年度	139	H29年6月	142	R3年3月末	0
92	148	グループホーム等の定員(グループホーム、生活 ホーム、ふれあいホームの定員)	基盤	8, 400 人	R5年度	7, 610	R3. 3. 31	9, 000	R4. 3. 31	0
93	148	精神保健福祉センターにおける訪問指導の延人数	過程	30 人 50 人	R2年度 R6年度	8	H27年度	31	R4年3月末	0
94	148	地域移行・定着協力病院数	過程	27 病院	R5年度	25	44286	25	R4年3月末	⇒
95	148	統合失調症患者における治療抵抗性統合失調症治 療薬の使用率	過程	0. 98 % 1. 5 %	R2年度 R6年度	0. 24	H26年度	0.39	H30.3月末	0
96	148	精神疾患の訪問看護利用者数(認知症を除く)	過程	3, 437 人 3, 498 人	R2年度 R6年度	3, 408	H29. 6	3, 824	R1.6月末	0
97	148	退院患者平均在院日数(精神病床)	成果	298 日 274 日	R2年度 R6年度	325. 1	H27年度	319. 6	R3年3月末	0
98	149	在院期間5年以上、かつ65歳以上退院者数(1月当 たりの退院者数)	成果	33 人 49 人	R2年度 R6年度	20	H28年度			未判明
99	149	精神病床における急性期(3ヵ月未満)入院需要 (患者数)	成果	1,823 人 1,821 人	R2年度 R6年度	1, 783	H26年度	1, 550	R2年6月末	0

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況	□間見直し後) 直近の		指標の 動向※
100	149	精神病床における回復期(3ヵ月以上1年未満)入 院需要(患者数)	成果		1, 507 人 1, 555 人	R2年度 R6年度	1, 423 H26年度	1, 482	R2年6月末	•
101	149	精神病床における慢性期(1年以上)入院需要 (患者数)	成果		5, 510 人 4, 017 人	R2年度 R6年度	6, 329 H26年度	5, 958	R2年6月末	0
102	149	精神病床における慢性期入院患者 (65歳以上患者 数)	成果		3, 058 人 2, 227 人	R2年度 R6年度	3, 282 H26年度	3, 582	R2年6月末	•
103	149	精神病床における慢性期入院患者数(65歳未満患 者数)	成果		2, 452 人 1, 790 人	R2年度 R6年度	3,046 H26年度	2, 376	R2年6月末	0
104	149	精神病床における入院需要(患者数)	成果		8, 840 人 7, 393 人	R2年度 R6年度	9,535 H26年度	8, 990	R2年6月末	0
105	150	地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)	成果		1, 104 人 2, 760 人	R2年度 R6年度				未判明
		地域移行に伴う基盤整備量(65歳以上利用者 数)	成果		627 人 1,521 人	R2年度 R6年度				未判明
107	150	地域移行に伴う基盤整備量(65歳未満利用者 数)	成果		477 人 1, 239 人	R2年度 R6年度				未判明
108	150	精神病床における入院後3か月時点の退院率	成果		70 %	R5年度	70 H30.3月末	68	R2年6月末	•
109	150	精神病床における入院後6か月時点の退院率	成果		86 %	R5年度	83 H30.3月末	82	R2年6月末	•
110	150	精神病床における入院後1年時点の退院率	成果		92 %	R5年度	89 H30.3月末	89	R2年6月末	⇒
111	150	自殺死亡率(人口10万対)	成果		13	R6~38平均	18.3 H26~28平均	16. 4	R1~R3平均	0

(1) 5疾病【⑤イ 精神疾患(認知症)】

112	162	認知症サポーター数	基盤	0	580, 000 人	R5年度	527, 686	R3. 3. 31	565, 092	R4. 3. 31	0
113	162	認知症サポート医の養成人数	基盤	0	650 人	R5年度	508	R3. 3. 31	570	R4. 3. 31	0
114	162	かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数	基盤	0	1,500 人	R5年度	1, 230	R3. 3. 31	1, 315	R4. 3. 31	0
115	162	病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 修了者数	基盤	0	4, 700 人	R5年度	3, 811	R3. 3. 31	4, 127	R4. 3. 31	0
116	162	歯科医師認知症対応力向上研修修了者数	基盤	0	1, 300 人	R5年度	932	R3. 3. 31	1, 116	R4. 3. 31	0
117	162	薬剤師認知症対応力向上研修修了者数	基盤	0	1, 900 人	R5年度	1, 425	R3. 3. 31	1, 595	R4. 3. 31	0
118	162	看護職員認知症対応力向上研修修了者数	基盤	0	755 人 ^{(累} 計)	R5年度	244	R3. 3. 31	338	R4. 3. 31	0
119	162	認知症介護実践研修受講者数(千葉市を除く。)	基盤	0	5, 632	R5年度	5, 032	R2年度	5, 260	R3年度	0

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況		直近の状況		指標の 動向※
120	162	「千葉県オレンジ連携シート」の使用枚数	過程	0	1, 100 枚	R5年度	947	R元年度			未判明
121	163	認知症対応型共同生活介護(グル-プホーム)利 用者実績(地域密着型サービスの利用状況)	成果	0	8, 224 人/月	R5年度	6, 965	R元年度	6, 997	R3年度	0
122	163	特別養護老人ホーム利用者実績(施設サービス利 用状況)	成果	0	30, 721 人/月	R5年度	24, 033	R元年度	27, 088	R3年度	0
123	163	認知症対応型通所介護利用実績(地域密着型サー ビス利用状況)	成果	0	16,378 回/月	R5年度	13, 501	R元年度	11, 426	R3年度	•

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通します 指標のます 計画策定時 分類 中間見ます 計画策定時 (中間見直し後) の状況
--

(2) 4事業【①救急医療(病院前救護を含む)】

124	172	救命講習等受講者数	基盤	11 万人以上	R5年度	10 H27年度	3	R2	A
125	172	ドクターカーを配備している医療機関数	基盤	30 箇所	R5年度	21 H27年度	40	R3. 4	0
126	172	上記、ドクターカーを配備している医療機関数の うち、救命救急センター数	基盤	10 箇所	R5年度	7 H28年度	13	R3. 4	0
127	172	医療施設従事医師数(救急科)(人口10万対)	基盤	増加	R4年	2.7 H28年	3. 6	R2	0
128	172	救命救急センター設置数	基盤	14 箇所	R5年度	13 H29年度	14	R3	0
129	172	心肺停止状態で見つかった者(心原性、一般市民 の目撃者有り)のAED使用率	過程	10 %以上	R5年	5.4 H28年	4. 6	R2	•
130	172	救急隊と医療機関との平均交渉回数	過程	1 回/月	R5年度	1.38 H27年度	1. 48	R3	•
131	172	搬送困難事例(受入交渉回数 5 回以上又は現場滞 在時間 3 0 分以上)の割合	過程	14 %	R5年度	15.2 H27年度	22. 7	R3	•
132	172	心肺停止状態で見つかった者(心原性、一般市民 の目撃者あり)の1ヶ月後の生存率	成果	20 %以上	R5年	19.0 H28年	10. 3	R2	•
133	172	救急隊覚知からの医療機関等収容所要時間の平均	成果	40 分	R5年	44.1 H28年	46. 5	R2	A

(2) 4事業【②災害時における医療】

134	180	災害派遣医療チーム(DMAT) ・チームの数	基盤		55 チーム	R5年度	40 H29	年度 52	R4. 9. 1	0
135	180	災害派遣医療チーム(DMAT) ・構成員の数	基盤		300 名	R5年度	224 H29	年度 304	R4. 9. 1	0
136	180	災害派遣医療チーム(CLDMAT)・チームの 数	基盤		35 チーム	R5年度	23 H29	年度 16	R4. 4. 1	•
137	180	災害派遣医療チーム(CLDMAT)・構成員の 数	基盤		250 名	R5年度	197 H29	年度 162	R4. 4. 1	•
138	180	災害派遣精神医療チーム(DPAT)・チームの 数	基盤	0	21 チーム	R5年度	35 R3. 3	38	R4. 3	0
139	180	災害派遣精神医療チーム(DPAT)・構成員の 数	基盤	0	91 名	R5年度	142 R3. 3	3月末 153	R4. 3	0

(2) 4事業【③周産期医療】

14	188	分娩実施施設数(15~49歳女子人口10万対)	基盤	増加	R5年度	7. 8	H26年度	7. 7	H29. 10	A
14	1 188	周産期母子医療センターの数	基盤	13 箇所	R5年度	12	H29年度	12	R4. 4	⇒

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況	直近の状況		指標の 動向※
142	188	NICUの整備数 ※診療報酬対象	基盤		141 床	R5年度	132 H29年度	150	R3	0
143	188	周産期母子医療センター及び連携病院と救命救急 センターの併設数	基盤		12 箇所	R5年度	12 H29年度	12	R4. 4	⇒
144	188	医療施設従事医師数(産科・産婦人科)(15-49 歳女子人口10万対)	基盤		39	R4年	35. 4 H28年	35. 6	R2	0
145	188	就業助産師数(出生千対)	基盤		41	R4年	31.3 H28年	39. 4	R2	0
146	188	分娩数に対する病院間搬送件数の割合(分娩数千 対)	過程		13	R5年度	22.3 H28年度	23. 4	R2	•
147	188	産後訪問指導を受けた割合	過程		42 %	R5年度	40.8 H27年度	40. 1	R2	•
148	188	全出生中の低出生体重児の割合	成果		減少	R5年	9. 2 H28年	8. 9	R3	0
149	188	妊産婦死亡率(出生10万対)	成果		減少	R5年	4.3 H28年	9.8	R2	•
150	188	新生児死亡率(出生千対)	成果		減少	R5年	1.0 H28年	0.8	R2	0
151	188	周産期死亡率 ・後期死産率(出産千対)	成果		減少	R5年	3. 4 H28年	2. 7	R3	0
152	188	周産期死亡率 • 早期新生児死亡率(出生千対)	成果		減少	R5年	0.7 H28年	0. 6	R3	0

(2) 4事業【④小児医療(小児救急医療を含む)】

153	196	医療施設従事医師数(小児科)(15歳未満人口10 万対)	基盤	97 人	R4年	85.8 H28年	95. 5	R2	0
154	196	小児救急電話相談件数	基盤	35,000 件	R5年度	31, 312 H28年度	39, 483	R3	0
155	196	乳児死亡率	成果	減少	R5年	2. 09 H28年	2. 06	R3	0
156	196	乳幼児(5歳未満)死亡率	成果	減少	R5年	0. 59 H28年	0. 50	R2	0
157	196	小児(15歳未満)の死亡率	成果	減少	R5年	0. 24 H28年	0. 19	R2	0

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

(3)在宅医療

158	232	入退院支援を実施している診療所数・病院数 (入退院支援加算1、2を算定した医療機関数)	基盤	0	164 箇所	R5年	139	R2年	141	R3年	0
159	232	在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数	基盤	0	864 箇所	R5年	772	R2年	765	R3年	•
160	232	在宅患者訪問診療(居宅)実施歯科診療所数	基盤	0	460 箇所	R5年	348	H29. 10	433	R2. 10	0
161	232	在宅患者訪問薬剤管理指導料届出薬局数	基盤	0	2, 174 箇所	R5年	2, 031	R3. 4月	2, 188	R4. 8	0
162	232	訪問看護ステーション数	基盤	0	530 箇所	R5年	388	R元. 10	418	R2. 10	0
163	232	往診を実施している診療所・病院	基盤	0	1, 113 箇所	R5年	1, 001	R2年	1, 043	R3年	0
164	232	在宅療養後方支援病院数	基盤	0	16 箇所	R5年	15	R3. 4月	16	R4. 8	0
165	232	機能強化型訪問看護ステーション数	基盤	0	34 箇所	R5年	29	R3.4月	34	R4. 7	0
166	232	在宅看取り(ターミナルケア)実施診療所・病院 数	基盤	0	615 箇所	R5年	615	R2年	924	R3年	0
167	232	在宅患者訪問診療件数	過程	0	960, 752 件	R5年	743, 423	R2年	808, 997	R3年	0
168	232	訪問看護ステーションの利用者数	過程	0	39, 395 人/月	R5年	27, 781	R元. 9	32, 026	R2. 9	0
169	232	在宅での看取り数	過程	0	5,010 件	R5年	6, 326	R2年	6, 771	R3年	0
170	232	介護が必要になっても自宅や地域で暮らし続けら れると感じられる県民の割合	成果	0	50 %	R5年	37. 3	R2年	26. 9	R3	•

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

番	掲 載 指標名 頁	分類	指標の 中間見 直し	目標	計画策定時 (中間見直し後) の状況	直近の状況	指標の 動向※	
---	------------------------	----	------------------	----	--------------------------	-------	------------	--

(4)外来医療

171	別20	「かかりつけ医」の定着度	過程		63 %	R5年度	57	H28年度	63	R3	0
172	別20	救急安心電話相談事業の対応件数	基盤		30,000 件	R5年度	22, 208	H30年度	34, 810	R3	0
173	別20	在宅患者訪問診療実施診療所数・病院数	基盤	0	864 箇所	R5年	772	R2年			未判明
174	別20	定期予防接種率(A類疾病)	基盤		97 %以上	R5年度	97	H28年度	92	R3年度	•
175	別20	定期予防接種率(B類疾病)	基盤		50 %以上	R5年度	46	H28年度	34	R3年度	•
176	別28	医療機器の共同利用を受け入れている医療機関数	基盤		増加	R5年度	130	R1年度			未判明
177	別28	他医療機関の医療機器を共同利用している医療機 関数	基盤		増加	R5年度	441	R1年度			未判明

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標	計画策定時 (中間見直し後) の状況	直近の状況	指標の 動向※	
------	-----	-----	----	------------------	----	--------------------------	-------	------------	--

(5)医師確保

178	別147	医療施設従事医師数	基盤	13, 146 人	R5年度	11, 843	H28年度	12, 935	R2年度	0
179	別147	医療施設従事医師数(千葉)	基盤	2, 637 人	R5年度	2, 637	H28年度	2, 812	R2年度	0
180	別147	医療施設従事医師数(東葛南部)	基盤	3, 216 人	R5年度	3, 038	H28年度	3, 312	R2年度	0
181	別147	医療施設従事医師数(東葛北部)	基盤	2, 475 人	R5年度	2, 363	H28年度	2, 599	R2年度	0
182	別147	医療施設従事医師数(印旛)	基盤	1,385 人	R5年度	1, 255	H28年度	1, 530	R2年度	0
183	別147	医療施設従事医師数(香取海匝)	基盤	579 人	R5年度	529	H28年度	532	R2年度	0
184	別147	医療施設従事医師数(山武長生夷隅)	基盤	592 人	R5年度	496	H28年度	545	R2年度	0
185	別147	医療施設従事医師数(安房)	基盤	545 人	R5年度	545	H28年度	598	R2年度	0
186	別147	医療施設従事医師数(君津)	基盤	597 人	R5年度	491	H28年度	506	R2年度	0
187	別147	医療施設従事医師数(市原)	基盤	489 人	R5年度	489	H28年度	501	R2年度	0
188	別147	地域A群で勤務する修学資金受給者数	基盤	27 人年	R2~5年度	4	R元年度	15	R4年度	0
189	別147	県内専門研修基幹施設における専攻医採用数	基盤	400 人	R5年度 研修 開始者	332	R元年度 研修 開始者	395	R4年度研 修開始者	0
190	別147	客観的な労働時間管理方法により医師の労働時間 を把握している病院数	基盤	全 病院	R5年度	103	R1. 10	165	R4. 3	0
191	7),1111	タスク・シフティング、タスク・シェアリングの 促進 (医師事務作業補助者体制加算の施設基準に 適合しているものとして厚生局に届け出ている施 設数)	基盤	増加	R5年度	108	R1. 9	116	R4. 9	0
192	別147	「かかりつけ医」の定着度	過程	63 %	R5年度	57	H28年度	63	R3年	0
193	別147	小児救急電話相談事業	基盤	35,000 件	R5年度	31, 312	H28年度	39, 483	R3	0
194	別148	救急安心電話相談事業	基盤	30,000 件	R5年度	22, 208	H30年度	34, 810	R3	0
195	別148	分娩千件当たり医療施設従事医師数(産科・産婦 人科)	基盤	増加	R5年度	10	H28年度	11	R2年度	0
196	別148	15歳未満人口10万人当たり医療施設従事医師数 (小児科)	基盤	増加	R5年度	86	H28年度	95	R2年度	0
					. "	-				

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標	計画策定時 (中間見直し後) の状況	直近の状況	指標の 動向※	
------	-----	----	------------------	----	--------------------------	-------	------------	--

(6) その他

197	202	「かかりつけ医」の定着度	_		63 %	R5年度	56. 9	H28年度	63. 4	R3	0
198	202	「かかりつけ歯科医」の定着度	_		65 %	R5年度	62. 2	H28年度	69. 0	R3年度	0
199	202	「かかりつけ薬剤師・薬局」の定着度	_		63 %	R5年度	40. 5	H28年度	45. 0	R3年度	0
200	202	医療機関の役割分担についての認知度	_		63 %	R5年度	45. 9	H29年度			未判明
201	202	小児救急電話相談件数	_		35,000 件	R5年度	31, 312	H28年度	39, 483	R3	0
202	234	結核羅患率(人口10万対)	_	0	10 以下	R5	11. 1	R元年	8. 8	R3年度	0
203	234	接触者健診受診率	_	0	98 %以上	R5	93. 1	R元年	94. 6	R3年度	0
204	234	結核病床保有病院(モデル病床を含む)の確保	_	0	9 医療圏	R5	9	R2年度	9	R3年度	⇒
205	238	いきなりエイズ率	_		32 %	R5	38. 0	H28	45. 2	R3年度	A
206	242	感染症外来協力医療機関の施設整備数	_		27 箇所	R5年度末	14	H28年度末	20	R2年度	0
207	242	定期予防接種率(A類疾病)	_		97 %以上	R5年度	96. 5	H28年度	91.8	R3年度	•
208	242	定期予防接種率(B類疾病)	_		50 %以上	R5年度	46. 1	H28年度	34. 3	R3年度	A
209	245	肝炎ウイルス検査件数(B型・C型)	_	0	20,000 件	R5年度	5, 491	R元年度	849	R3年度	A
210	259	むし歯のない3歳児の割合	_		90 %以上	R5年度	84. 0	H28年度	88. 6	R2年度	0
211	259	12歳児(中1)の平均むし歯本数	_		1 本以下	R5年度	0. 81	H28年度	0. 60	R2年度	0
212	259	80歳以上で20歯以上自分の歯を有する者の割合	_		50 %以上	R5年度	34. 3	H27年度	43. 9	R3年度	0
213	259	進行した歯周炎を有する者の割合・40歳(40~49 歳)	_		20 %以下	R5年度	45. 0	H28年度	47. 9	R3年度	A
214	259	進行した歯周炎を有する者の割合・50歳(50~59 歳)	_		30 %以下	R5年度	48. 9	H28年度	51. 2	R3年度	•
215	259	進行した歯周炎を有する者の割合・60歳(60~69 歳)	_		45 %以下	R5年度	53. 5	H28年度	55. 0	R3年度	A
216	259	3歳児でむし歯がない者の割合が80%以上である市町村の増加	_		54 市町村	R5年度	36	H28年度	49	R2年度	0

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況		直近の状況		指標の 動向※
217	259	12歳児(中1)の一人平均むし歯数が1.0歯未満で ある市町村の増加	_		54 市町村	R5年度	35	H28年度	45	R2年度	0
218	266	高次脳機能障害支援普及事業支援拠点機関	_		4 箇所	R5年度	3	H29年度	4	R4. 4	0
219	266	地域リハビリテーション広域支援センターの支援 機能を補完する指定機関数	_		200 箇所	R5年度	_	H28年度	182	R4. 5. 31	⇒
220	266	地域リハビリテーション広域支援センターと連携 している行政機関数(市町村)	_		40 市町村	R5年度	13	H27年度	34	R3年度	0
221	266	地域リハビリテーション広域支援センターと連携 している行政機関数 (地域包括支援センター)	_		150 機関	R5年度	41	H27年度	47	R3年度	0
222	272	介護予防に資する住民運営による通いの場への参 加率	過程	0	6 %	R5年度	3	R元年度	3	R2年度	⇒
223	272	低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の 増加の抑制	過程		22 %	R4年度	15. 1	H27年度			未判明
224	272	足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当た り・男性)	過程		177 人	R4年度	211	H28			未判明
225	272	足腰に痛みのある高齢者の割合の減少(千人当た り・女性)	過程		258 人	R4年度	269	H28			未判明
226	272	ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認 知している県民の割合の増加	過程		80 %	R4年度	41. 4	H27年度	44. 6	R3年度	0
227	272	高齢者(60歳以上)の社会参加の促進(就業または何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加・男性)	成果	0	80 %	R5年度	70. 7	R元年度	60. 1	R3年度	•
228	272	高齢者(60歳以上)の社会参加の促進(就業または何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加・女性)	成果	0	80 %	R5年度	64. 3	R元年度	48. 8	R3年度	•
229	281	薬局・医療施設従事薬剤師数(人口10万対)	_		全国平均と 同水準	R4	176. 2	H28	193	R2年度	0
230	285	看護師等養成所卒業生の県内就業率	_		69 %	R6.3卒業生	67. 3	H29. 3卒業生	66. 6	R4. 3	•
231	285	看護職員の離職率	_		低下を目指します	R5年度	11. 7	H27年度	11.9	R2年度	•
232	295	健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平 均の延伸・男性)	_		平均寿命の 増加分を上 回る健康寿 命の増加	R4	72. 37	H28	72. 61	R元年度	0
233	295	健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平 均の延伸・女性)	_		平均寿命の 増加分を上 回る健康寿 命の増加	R4	75. 17	H28	75. 71	R元年度	0
234	295	健康格差の縮小(日常生活に制限のない期間の平 均の市町村格差の縮小・男性)	_		市町村格差 の 縮小	R4	2. 25	H25	2. 61	H30年度	A
235	295	健康格差の縮小(日常生活に制限のない期間の平 均の市町村格差の縮小・女性)	_		市町村格差 の 縮小	R4	3. 11	H25	2. 20	H30年度	0
236	301	1歳6か月児健診未受診者の状況把握	_	0	100 %	R5年度	90. 9	R元年度	92. 5	令和3年度	0
237	301	3歳児健診未受診者の状況把握	_	0	100 %	R5年度	87	R元年度	90. 8	令和3年度	0

【※指標の動向】○前進 / ⇒変化なし / ▲後退 / 未判明

通し番号	掲載頁	指標名	分類	指標の 中間見 直し	目標		計画策定時 (中間見直し後) の状況	直近の状況		指標の 動向※
238	301	要保護児童対策地域協議会設置市町村数	_		全市町村	R5年度	53 H29. 4	54	H30. 12	0
239	303	地域包括支援センター職員等に係る研修の実施 (新任者研修、現任者研修)	_	0	320 人/年	R5年度	358 R2年度	344	R3年度	0
240	313	地域保健関係者に対する研修会の参加者数(衛生 研究所開催分)	_		720 人/年	R5年度	528 H27年度	151	R3	A
241	313	県民等に対する公開講座等の開催	_		8 回/年	R5年度	1 H27年度	0	R3	A
242	316	健康危機対策研修修了者数	_		6,000 人口累計)	R5年度	3, 395 H29. 12	5, 732	R3年度末	0
243	319	院内感染地域支援ネットワークの活用の向上(年 間相談件数)	_		25 件	R5年度	15 H28年度	4	R3年度	A
244	327	薬事監視実施率(製造業等)	_		増加	R5年度	21.1 H28年度	7. 4	R3年度	A
245	327	薬事監視実施率(薬局等)	_		増加	R5年度	42.0 H28年度	19. 6	R3年度	A
246	327	後発医薬品割合(数量ベース)	_	0	80 %	R5年度	82.5 R2年度			未判明
247	331	街頭啓発活動実施回数	_		増加	R5年度	125 H28年度	42	R3年度	A
248	331	麻薬取扱施設立入検査実施回数	_		1,000 施設	R5年度	910 H28年度	272	R3年度	A
249	333	献血計画における目標達成率	_		100 %	R5年度	94.5 H28年度	100. 9	R3年度	0
250	337	毒物劇物監視実施率	_		45 %	R5年度	42.5 H28年度	19. 8	R3年度	A
251	339	食中毒罹患率(10万対罹患率)	_		9	R5年度	H26~28年 8.9 度の平均罹 患率	5. 5	令和元〜令 和3年度の 平均罹患率	0
252	339	食品検査件数	_	0	2,700 件/年	R5年度	1, 167 R2年度	1, 468	令和3年 度	0
		専用水道及び小規模専用水道施設の立入検査実施 率(※町村に限る)			100 %	R5年度	98.8 H28年度	42	R3年度	A
254	345	特定建築物、旅館、公衆浴場、プールの立入指導 率	_		85 %	R5年度	80.7 H28年度	31. 7	R3年度	A